

第5次草津市総合計画第1期基本計画

【 期末評価 】

平成24年 月

草 津 市

第5次草津市総合計画第1期基本計画 期末評価について

【目的】

平成22年3月に策定した第5次草津市総合計画第1期基本計画の計画期間が、平成24年度をもって終了することから、基本構想において掲げる平成32年度の将来像の実現に向けた本市のまちづくりを、引き続き計画的に推進していくことを目的に、平成25年度から平成28年度を計画期間とする第5次草津市総合計画を平成24年度中に策定します。ついで、平成24年度に、第1期基本計画期間中のまちづくりの進展における成果を捉えるとともに、評価を行うことで、第2期基本計画の策定につなげるものとします。

【期末評価方法について】

第1期基本計画における進捗管理として、57項目の基本方針ごとに定めためざすべきまちの目標像の実現に向けたまちづくりの進捗の目安となる達成指標（ベンチマーク）を設け、毎年の目標達成度を測るとともに、140項目の施策ごとの目標達成状況の評価を行ってきました。

第1期基本計画の期末評価としては、これらの進捗管理結果を踏まえながら、平成23年度までの基本方針ごとの取組み状況や目標達成状況、計画期間中における環境変化と今後の課題等を取りまとめました。

【第1期基本計画の基本方針ごとの目標達成度について】

目標達成度	H23年度基本方針数（割合）	H22年度基本方針数（割合）
100%	23（40.3%）	18（31.6%）
76%～99%	25（43.9%）	26（45.6%）
51%～75%	6（10.5%）	9（15.8%）
26%～50%	1（1.8%）	2（3.5%）
1%～25%	0（0.0%）	0（0.0%）
0%	2（3.5%）	2（3.5%）
計	57（100%）	57（100%）

○平成23年度目標達成度の概要

平成23年度では、第1期基本計画の最終年度である平成24年度の目標値に対して、目標達成度が76%を上回る基本方針数が48あり、全体の約84%を占めています。また、目標達成度が26%から75%の基本方針は7であり、目標達成度が25%以下の基本方針は2でした。なお、目標達成度が25%以下の2つの基本方針は、いずれも目標達成度が0%となっています。

○平成22年度目標達成度と平成23年度目標達成度の比較

目標達成度が増加した基本方針数	26
目標達成度が減少した基本方針数	12
目標達成度が変化していない基本方針数	19（内100%：16、内0%：2）

○目標達成度が100%であった基本方針の目標達成度の概要（抜粋）

- 5) 学校施設の整備（指標：小・中学校の耐震化率）
- ・安心・安全な教育環境を整えるために、平成8年度から取組んできた学校施設の耐震化事業が平成23年度をもって完了しました。
- 13) 母子保健等の充実（指標：すこやか訪問の利用率）
- ・子育ての不安や心配の多い時期に全戸訪問し、母子の状況把握や相談、助言を行い、不安の軽減を図るとともに、育児支援の必要なケースを早期発見し、適切な子育て支援サービス等につなげました。また、平成23年度より未訪問のケースに対して個別勧奨を実施し、訪問率の向上を図りました。
- 22) 市民の健康づくり（指標：健康推進委員が実施する事業への参加者数）
- ・健康推進員が実施する事業に参加する市民が増加していることから、事業をきっかけとして自身の健康づくりに取り組む市民が増えていると考えられます。
- 53) まちづくり情報の提供の充実（指標：ポータルサイトアクセス数）
- ・市民公益活動団体間におけるネットワークの形成を目的とした地域ポータルサイト「くさつ情報ネット」や企業情報サイト「あうんです!」、子育て応援サイト「ぽかぽかタウン」等の地域ポータルサイトを開設し、積極的な情報提供を行いました。

○目標達成度が0%であった基本方針の目標達成度の概要

- 14) 就学前教育・保育の充実（指標：保育所待機児童数）
- ・民間保育所の整備による保育定員の増加や家庭的保育事業の開始により、保育所待機児童数の減少に努めましたが、待機児童数は増加を続けています。平成24年度の目標値を0人としているため、達成度は0%としました。
- 19) 障害のある人の生活支援（指標：居住サポート相談機関の数）
- ・住宅入居等支援事業（居住サポート事業）として行っている事業所が現在のところなく、相談機関の数は0件となっています。（地域生活支援センター等で、居住サポート等必要な支援はしています。

【参考：目標達成度の算出方法について】

○指標の設定について

意識調査を利用したもの 約 1 / 3 (18 / 57)

○目標達成度の算出方法

$\frac{\text{平成23年度実績値}}{\text{平成24年度目標値}}$ を基本としています。

※上記以外の算定方法を使用している目標達成度

14) 就学前教育・保育の充実（指標：保育所待機児童数）

→平成24年度の目標値を0人としているため、達成度が0%か100%しかない。

19) 障害のある人の生活支援（指標：居住サポート相談機関の数）

→平成24年度の目標値を1機関としているため、機関ができないかぎり0%となる。

28) 犯罪のないまちづくり（指標：犯罪認知件数）

→平成24年度目標値の1,000件へと減少させていく設定のため、実績値が目標値を超えているため、 $\frac{\text{平成24年度目標値}}{\text{平成23年度実績値}}$ で達成度を算定

39) 水の安定供給（指標：水の安定供給に対して不満を感じている市民の割合）

→平成24年度目標値は4.9%と減少させていく設定のため、実績値が目標値を超えているため、 $\frac{\text{平成24年度目標値}}{\text{平成23年度実績値}}$ で達成度を算定

57) 行財政資源の有効活用（指標：将来負担比率）

→平成24年度目標値は60%以内としており、実績値が60%以内なら達成度を100%としている。

※計画期間中に指標を変更した方針

8) 生涯学習活動の振興

- ・当初指標 生涯学習手帳の発行数
- ・変更後指標 生涯学習ガイドブック「誘遊友」に掲載の講座の受講者数
- ・変更理由 生涯学習手帳の発行の停止による（H22から変更）

※計画期間中に指標の状況が変化した方針

29) 治水対策（指標：雨水排水路整備率（進捗／計画））

- ・平成23年度に認可面積の見直し（拡大）を行ったため、指標の分母が変更となった。

※暫定数値を使用

23) 医療保険制度等の適正運用（指標：特定健康診査受診率）

- *実績値は翌年度の11月に確定するため、H22の実績値は更新し、H23の実績値は暫定としている。

表の見方

「行財政マネジメント」を含めた5つのまちづくりの基本方向を記載しています。

「人」が輝くまちへ


◆人権 ← 22の分野を記載しています。

57の基本方針ごとに評価をまとめています。

第1期基本計画に記載されている「現況」と「課題」を転記しています。

第1期基本計画期間における取り組み概要や環境変化等について、基本方針ごとにまとめています。



目標像: 第1期基本計画において、57の基本方針ごとに定めたいまじの「目標像」です。
ベンチマーク: 目標像の実現に向けたまちづくりの進捗の目安となる達成指標です。
目標値と実績値: 第1期基本計画策定時に定めた目標値と、第1期基本計画期間中の実績値です。(上段は目標値、下段は、H22年度、H23年度の実績値を記載しています。)
目標達成度: 第1期基本計画の期末である平成24年度の目標値に対する平成23年度の達成度を割合で示しています。図の着色は目標達成度を視覚的に確認いただけるよう、目標像を示すイメージイラストに概ねの目標達成度相当分を着色しています。

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	第1期計画期間における取り組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇：取り組み概要・成果実績、◆：環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位	達成度				目標達成度	
							H21	H22	H23	H24		
1	人権文化の醸成	○人権尊重と世界恒久平和を願い、地域社会から人権文化の醸成を図って来ていますが、現在も依然として、人権や平和を脅かす状況があります。 ●人権の大切さと平和の尊さを踏まえた地域社会づくりに向けて、すべての市民が同和問題をはじめ、あらゆる人権問題を解決するため行動する必要があります。	◇各種啓発事業を実施した。 ◆講座やイベント等の参加者がまだ少ない。参加意欲を高める講師の選定や啓発方法等に工夫が必要。	人権と人の多様性を尊重する人が増える！	人権が尊重されるまちであると思う市民の割合	%	目標値	—	24.0	25.0	26.0	 99.2%
							実績値	23.2	22.1	25.8	—	


第5次草津市総合計画 第1期基本計画の期末評価について
〈分野別の概要〉

「人」が輝くまちへ



◆人権

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	第1期計画期間における取組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H21	H22	H23	H24		
1	人権文化の醸成	○人権尊重と世界恒久平和を願い、地域社会から人権文化の醸成を図って来ていますが、現在も依然として、人権や平和を脅かす状況があります。 ●人権の大切さと平和の尊さを踏まえた地域社会づくりに向けて、すべての市民が同和問題をはじめ、あらゆる人権問題を解決するため行動する必要があります。	◇各種啓発事業を実施し、市民の人権意識の高揚を図っている。 ◆講座やイベント等の参加者がまだまだ少ない。参加意欲を高める講師の選定や啓発方法等に工夫が必要である。	人権と人の多様性を尊重する人が増える！	人権が尊重されるまちであると思う市民の割合	%	目標値	—	24.0	25.0	26.0	 99.2%
							実績値	23.2	22.1	25.8	—	
2	人権の擁護	○「草津市人権擁護に関する条例」に基づき、人権擁護の視点から対策を講じていますが、同和問題をはじめとする様々な人権問題がさらに多様化・複雑化してきています。 ●同和問題の解決を図るとともに、人権問題全般の多様化・複雑化に対応し、他の相談機関との連携を強めていく必要があります。	◇人権相談員を常設するとともに人権擁護委員や弁護士による相談の機会を提供し、気軽に安心して相談できる体制を整えている。草津市人権擁護推進協議会を設置し、市民への啓発活動を行っている。 ◆案件に応じて関係機関との連携が必要である。	人権侵害を受けた人が守られる！	人権相談で困ることが解決または軽減された割合	%	目標値	—	83.0	85.0	88.0	 79.9%
							実績値	約80.0	70.0	70.3	—	

◆男女共同参画


No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	第1期計画期間における取組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H21	H22	H23	H24		
3	男女共同参画社会の構築	○固定的な性別役割分担意識にとらわれず、それぞれの個性と能力が十分に発揮できる社会づくりにおいて、その遅れを国際社会から指摘されています。 ●男女がともに社会の対等な構成員として、一人ひとりの個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画の社会づくりをさらに進めていく必要があります。	◇条例・推進計画に基づき平成22年度から学習および啓発に取り組んでいる。市民向けのセミナーの企画や啓発事業の運営も市民との協働で進めている。 ◆若年層を含め幅広い市民への啓発の継続が必要である。セミナーは、市民団体に委託して内容の充実や参加者の拡大に繋げる必要がある。	男女がともに喜びと責任を分かち合える！	男女共同参画が進んでいると思う市民の割合	%	目標値	—	16.0	18.0	20.0	 94.0%
							実績値	15.6	15.2	18.8	—	

◆教育・青少年


No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	第1期計画期間における取組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H21	H22	H23	H24		
4	学校教育の充実	<p>○“開かれた行動する教育委員会の運営”のもと、教育振興基本計画を策定しながら、児童生徒を守り育てる教育行政を展開しています。</p> <p>●充実した教育環境のもとで、児童生徒一人ひとりの学力向上を図るとともに、豊かな心と健やかな体を育成していくことが求められます。</p>	<p>◇小中学校の新学習指導要領実施導入に伴い、国語・英語・理数教育を柱とした学力向上プログラムに取組むとともに、体験活動を推進した。</p> <p>◆スペシャル授業やモデルプラン推進事業等を各校の教育活動活性化の手がかりにしたい。 ことばの教室への通級希望者が急増しており、教室の拡充と保幼小連携強化等が必要である。 子どもにかかわって、学校だけでは対応できない複雑なケースが増加しており、引き続き教育相談体制の充実が必要である。</p>	「学校教育が充実している」と考える市民が増える！	学校教育の充実に満足している市民の割合	%	目標値	—	29.0	32.0	35.0	 83.7%
5	学校施設の整備	<p>○改築や耐震化等が必要な施設の多くについて、一定の整備が進んできていますが、一部に老朽化に伴う改修が必要な施設があります。</p> <p>●児童生徒の安全確保を最優先に、財政負担の年度平準化を図りながら、よりよい教育環境整備を計画的に行っていく必要があります。</p>	<p>◇全校学校図書へのシステム導入を完了。全小中学校・全教室に電子黒板等を整備。小中学校の耐震化は完了。</p> <p>◆学校図書館蔵書の適正管理のため、廃棄基準等の設定が必要。今後は築25年以上の建物の大規模改修に取り組む予定だが、東日本大震災以降、非構造部材の耐震対策要請があり、点検・工事等の手法確立が課題。</p>	子どもの学習環境が充実している！	小・中学校の耐震化率	%	目標値	—	93.7	100.0	100.0	 100.0%
6	青少年の健全育成	<p>○青少年の問題行動が多様化、低年齢化しており、学校・地域・家庭の教育力の低下などが指摘されています。</p> <p>●地域の青少年を地域で守る意識を地域ぐるみで共有しながら、専門機関等とも連携した取り組みの展開を図っていくことが重要となっています。</p>	<p>◇青少年育成活動団体支援、青少年問題協議会を開催。少年センターで非行防止、立ち直り支援や相談活動を実施。青年海外派遣激励や出前授業を実施。</p> <p>◆県・市などの専門相談機関の設置・利用によって相談者が分散している。相談内容も複雑で関係機関・団体の連携が重要。地域結束のため青少年育成市民会議や各学(地)区民会議への支援強化が必要。 出前授業は、実施時間の確保が困難になっており、授業実施の拡大が課題。</p>	青少年が地域の中で健やかに成長している！	青少年からの相談件数	件	目標値	—	1,200	1,200	1,200	 56.1%
							実績値	27.1	27.4	29.3	—	
							実績値	87.4	93.9	100.0	—	
							実績値	680	841	673	—	


◆生涯学習・スポーツ

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	第1期計画期間における取組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H21	H22	H23	H24		
7	生涯学習施設の整備・充実とネットワーク化	<p>○市民の生涯学習活動は、活発な広がりを見せていますが、その活動や成果を、発表するための場が不足しています。</p> <p>●専用の文化芸術等の展示・発表の場、また、絵画・工芸等の専用の実習室やオーケストラ、吹奏楽、合唱団等の練習の場の充実が求められます。</p>	<p>◇地域の各市民センター（公民館）で各種講座等および自主教室等貸館を実施。 図書館施設の管理運営、大規模改修を行った。</p> <p>◆「（仮称）市民文化の森基本計画」は、しが県民芸術創造館の動向の見極めが必要であること、さらに計画施設2施設が他所へ移転したため、同計画の見直しが必要。</p>	いつでも誰でも楽しく集って学べる！	「ゆうゆうびと講座」の参加者数	人	目標値	—	140	150	160	 82.5%
8	生涯学習活動の振興	<p>○学びを通しての“生きがい発見”の機会づくりは、市民が生涯にわたって充実した生活を送るうえで、ますます欠かせないものとなってきています。</p> <p>●より多くの市民の、多様な生涯学習ニーズに応えられるよう、講座等のいっそうの充実を図ることが求められます。</p>	<p>◇「立命館びわこ講座」「淡海生涯カレッジ」「草津市ゆうゆうびとバンク」等により市民の生涯学習活動の支援に努めた。 図書館2館は地域に根ざした図書館として運営。利用者ニーズにあわせた資料収集と貸出業務を実施した。</p> <p>◆草津市生涯学習大学事業は事業仕分けの結果、終了。「（仮称）コミュニティ・カレッジ」開設の方向性について検討する必要がある。 図書館の新たな利用者拡大のため市域での読書環境整備が必要。</p>	暮らしの中で「学び」を楽しむ市民が増える！	生涯学習ガイドブック「誘遊友」に掲載の講座の受講者数	人	目標値	—	16,600	16,700	16,800	 100.0%
9	地域学習社会の形成	<p>○地域協働合校の開始以来、地域の子どもと大人が、学び・かかわり・喜び・認め合って協働し、「共育ち」を得る地域学習社会づくりを進めてきています。</p> <p>●地域づくりの取り組みとの連携をさらに強め、また、子どもがより主体的に取り組むことのできる段階へと移行を図っていく必要があります。</p>	<p>◇地域協働合校は、学区・地区および小・中学校で大人と子どもとの協働による事業を実施。</p> <p>◆企画段階から参画してもらおう工夫が必要。また、当事業から地域の様々な場での実践に繋げていく必要がある。担当者中心に地域の教育資源の掘り起こし・ネットワークなどの継続的な実践により、一層の取り組みが必要。 地域協働合校推進事業委託料は、平成25年度から一部をまちづくり協議会への一括交付金化メニューに取り入れる予定のため、既存推進組織の整理が必要。</p>	世代の交わりのもとで地域の学びが深まる！	地域協働合校の参加者数	千人（延べ）	目標値	—	173.0	176.0	179.0	 78.2%
							実績値	約140.0	約140.0	約140.0	—	

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●課題】	第1期計画期間における取組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H21	H22	H23	H24		
10	市民スポーツの振興	<p>○スポーツは、楽しみ・仲間づくり・健康づくりなど、市民が生涯にわたって健康で豊かな生活を送るうえで様々な効果があり、多くの市民が親しんでいます。</p> <p>●市民スポーツの一層の振興のため、スポーツによる仲間づくり・健康づくりの支援や、施設・設備の整備などが求められています。</p>	<p>◇スポ振計画のもと施策を展開。小学生対象の子どもアスリート体験事業の実施、各種スポーツ行事の拡充を図った。農業者トレセン廃止や社会体育施設老朽化に伴い、施設の整備や改修を図った。</p> <p>◆社会体育施設の整備や、老朽化が進む施設について、耐震補強・大規模改修工事など適切な維持管理に努める。県民体育大会の派遣者数は増加、総合順位は目標を下回っているため、引き続き競技スポーツの振興に注力していく。総合型地域スポーツクラブの会員数は増加しているが、経営自立には、さらに会員獲得が必要。平成22年度供用開始の三ツ池運動公園ほか稼働率の低い施設で利用者増を図る必要がある。</p>	スポーツを楽しむ市民が増える！	スポーツに親しむ市民の割合	%	目標値	—	47.0	48.0	50.0	 100.0%
実績値	45.4	52.7	56.9	—								


◆市民文化

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●課題】	第1期計画期間における取組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H21	H22	H23	H24		
11	市民文化の醸成	<p>○市民の草津への愛着や市民文化への意識の高まりなどをまちづくりの中心に組み入れ、“ふるさと草津の心（シビック・プライド）”を醸成していくことが求められます。</p> <p>●生活文化・地域文化・芸術文化を継承し、誰もがこれらにふれる機会を充実させ、ネットワーク化を図る必要があります。</p>	<p>◇シティセールスの「戦略プラン」策定に向け、平成23年度は若手職員による検討を行った。市民の文化芸術活動や創作活動を奨励し、発表の場と鑑賞の場を提供することで文化・芸術団体の育成・支援を図り、多くの市民に文化芸術に親しむ機会を提供。</p> <p>◆シティセールスを長期的に継続実施するための仕組みを検討する必要がある。市民が親しみやすく、参加しやすい文化・芸術事業のため、若年層への展開が必要。ふるさと草津俳句会は投句者を増やすためのPR方法に工夫が必要。</p>	みんなが文化を通じたまちづくりに参加している！	市民音楽祭等文化行事・催事の参加者（発表者・出品者・鑑賞者）数	人	目標値	—	4,500	4,800	5,000	 100.0%
実績値	2,920	7,945	6,213	—								


No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●課題】	第1期計画期間における取組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位		H21	H22	H23	H24	目標達成度
12	歴史資産の 保全と活用	○地域に根ざした歴史資産は、まちの歴史や文化、伝統を理解するために、また、市民文化を新たに発展させるために欠くことのできないものです。 ●各種文化財等を適切に保全するとともに、その情報等を積極的に発信し、市民の貴重な財産を次世代へ大切に継承していく必要があります。	◇開発事前の埋蔵文化財の試掘、発掘調査を実施し、その実態を記録保存、成果を公表した。 史跡草津宿本陣内の長屋の保存修理工事に着手。ほか、指定文化財の保存と伝統芸能等の伝承を支援している。 史跡草津宿本陣を公開管理するとともに草津宿街道交流館を管理運営し、両館において各種普及啓発事業を実施。 ◆埋蔵文化財の公表対応の強化が必要。 史跡草津宿本陣の指定地全域の保存整備のため、計画を再検討し整備を急ぐ必要がある。さらに魅力発信の拠点を整備し、継続的な発信事業を展開する必要がある。	文化財への興味や理解を持つ人が増える！	史跡草津宿本陣の入館者等の数	人（延べ）	目標値	—	27,500	28,000	28,500	 100.0%
							実績値	約27,000	28,737	29,553	—	

「安心」が得られるまちへ


◆子ども・子育て


No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●課題】	第1期計画期間における取組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位		H21	H22	H23	H24	目標達成度
13	母子保健等の 充実	○少子化や小世帯化、都市化と地域関係の希薄化、若年・高齢出産の増加、社会経済情勢の悪化などにより、家庭の“子育て力”が弱まっています。 ●「子育てが孤立している」「子どもとの接し方がわからない」など、子育てに不安や問題を抱える家庭を、地域社会として支援する必要があります。	◇関係機関との連携により、子どもの急な病気や体調の変化に対応する小児救急医療の提供に取り組んできた。（平成18年4月から5年間） H23年度より、乳幼児健診に2歳6か月健診を追加。発達障害等の早期発見・早期支援、健康な成長発達と子育てへの支援強化を図った。 また、未受診・未訪問者に対し、通知や電話による個別勧奨を実施した。 ◆小児救急医療センターは、小児科医師の確保が出来ず、23年4月に指定を取消し休止状態である。湖南保健医療圏内での広域的な初期救急医療体制提供を目指す。 妊娠、出産、育児の不安を軽減できる環境づくりのため、関係機関との連携強化を図る必要がある。	子育てに不安を感じる人が少なくなる！	すこやか訪問の利用率	%	目標値	—	95.0	96.0	97.0	 100.0%
							実績値	93.6	97.2	98.0	—	

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	第1期計画期間における取組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H21	H22	H23	H24		
14	就学前教育・保育の充実	<p>○学びの基礎となる体力や豊かな情操、道徳性を培うために幼稚園、保育所（園）において就学前の子どもの教育・保育を実施しています。</p> <p>●就学前の教育の充実を図るために、幼保が連携し、教育・保育の取り組みの統一を図る必要があります。</p>	<p>◇幼稚園と保育所の連携を強化するとともに、幼児教育と保育の一体的な提供に向けた検討に着手。保育ニーズの多様化に対応し、家庭的保育事業を開始したほか、特別保育事業を推進した。保育所待機児童解消のため、民間保育所の施設整備を誘導。公立保育所・幼稚園の改築や耐震化を推進し、保育環境の整備を行った。障がいの早期発見・適切な療育等を乳幼児期から成人期まで一貫して提供。</p> <p>◆本市の実情を踏まえた幼保一体化を推進する必要がある。引き続き待機児童対策が必要であり、平成24年度を重点整備年度として約200人定員規模の私立認可保育所整備を誘導する。公立保育所の耐震化を実施するとともに、老朽化が進む公立保育所・幼稚園の施設更新の検討が必要。社会全体で発達障害についての認知、認識が広がっており、ニーズの高い巡回相談や学齢期以降の相談および青年成人期への支援を充実させるため、職員体制や力量の向上などが必要である。</p>	安心して子どもを預けられる！	保育所待機児童数	人	目標値	—	60	30	0	 0.0%
15	放課後児童対策の充実	<p>○放課後児童の家庭に代わる生活の場として良好な環境のもと、遊びや生活を通じたその子どもの健全育成を図っています。</p> <p>●必要とする放課後児童がすべて入会できる児童育成クラブ等の整備と、その毎日の生活の場としての環境の充実が求められています。</p>	<p>◇放課後児童育成クラブ（のびっ子）を、全小学校に公設民営で開設。「放課後子ども教室（放課後子どもひろば）」を平成21年度から平成23年度において、志津小学校と草津第二小学校で開設した。</p> <p>◆児童育成クラブの増設等を行ったにもかかわらず、ニーズが高まっている一部地域での待機が生じた。今後とも、適正な施設環境の整備と保育の質や専門性の向上など、運営の充実を図る必要がある。「放課後子ども教室」は、モデル事業として実施したが、児童育成クラブの受入れ学年の拡大や定員拡充が図られたことなどから、平成23年度をもって終了した。</p>	放課後の子どもが地域で安心して過ごせる！	児童育成クラブの定員	人	目標値	—	840	900	970	 95.9%


No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	第1期計画期間における取組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位		H21	H22	H23	H24	目標達成度
16	地域ぐるみの子ども・子育て支援	○子育てに不安や悩みを抱える家庭が増え、さらには子育て家庭の経済的困窮や児童虐待問題なども増加し深刻化しています。 ●地域の子育て支援ネットワークの充実とともに、特別な支援を必要とする子どもと家庭については、その自立を促進する基盤の強化が求められています。	◇子育て支援センターを総合窓口として、関係各機関・サービスの連携のもとで子育て支援を図っている。児童虐待については、「要保護児童対策地域協議会」を軸に各関係機関の連携を強化し、対応している。 ◆子育て支援については、子育て応援サイトなどの情報発信や子育て支援団体との連携により、より一層事業の周知が必要である。虐待防止については、啓発活動、要保護家庭・要支援家庭に対する支援の充実が必要である。ひとり親家庭に対して、今後とも相談・支援対応の充実を図る必要がある。	家庭の子育て力が高まる！	つどいの広場利用者数	千人（延べ）	目標値	—	24.0	29.0	32.0	 66.3%
							実績値	約 13.0	約 17.1	約 21.2	—	


◆長寿・生きがい

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	第1期計画期間における取組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位		H21	H22	H23	H24	目標達成度
17	いきいきとした高齢社会の実現	○いきいきとした高齢社会の実現に向けて、高齢期の健康と生きがいづくりがますます重要となってきています。 ●高齢期にある人が、自らの健康を維持し、知識や経験・技能を活かして社会参加できるよう、そのための機会を充実させていくことが求められています。	◇ロクハ荘・なごみの郷の運営により、生涯学習や健康づくり、子どもや孫世代との交流の場づくりを進めたほか、老人クラブ活動、地域サロン活動、また、学区・地区社会福祉協議会が開催する敬老会の開催やシルバー人材センターなどの活動を支援した。 ◆生涯学習講座をはじめ、さまざまな活動メニューがあるが、さらなる高齢者人口の増加と趣味趣向の多様化に対応した学習機会の充実を図っていく必要がある。ボランティアとしての人材育成と高齢者が活躍できる場を創出していく必要がある。そのうち、一部の事業では参加者に固定化の傾向がある。	高齢期になっても地域社会で活躍する人が増える！	地域の組織やグループに加入している65歳以上の市民の割合	%	目標値	—	71.0	73.0	75.0	 100.0%
							実績値	約 70.0	70.0	81.4	—	


No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●課題】	第1期計画期間における取組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H21	H22	H23	H24		
18	あんしんで きる高齢期 の生活への 支援	<p>○誰もが安心して高齢期を迎えられるよう、介護保険サービスを基本とした生活支援のサービスを整備し提供してきています。</p> <p>●制度理解の促進と個別のニーズを踏まえた適切なサービス提供を基本に、介護予防や認知症対策へのいっそうの取り組み充実が求められます。</p>	<p>◇介護保険制度や各種の福祉サービスを提供する中、予防事業では「いきいき百歳体操」を柱に普及・啓発に努めたほか、認知症サポーター養成講座を開催した。また、介護保険施設や地域密着型施設サービスの整備を進めた。年金制度について市民理解のための啓発に取組み、年金受給権の確保に努めた。</p> <p>◆できるだけ包括的、継続的に総合的な支援ができるような仕組みづくり（地域ケアネットワーク）が必要であるが、その一翼を担う地域包括支援センターは市役所に1カ所であるため、介護予防マネジメントと虐待などの支援困難ケースの対応に追われ、地域ケアネットワークの構築に着手できていない。</p>	困った時に相談できる窓口を知っている人が増える！	高齢者相談件数	件	目標値	—	7,000	7,200	7,600	 100.0%
						実績値	5,763	10,181	9,248	—		

◆障害福祉



No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●課題】	第1期計画期間における取組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H21	H22	H23	H24		
19	障害のある 人の生活支 援	<p>○3障害統合の障害福祉サービスを提供し、障害のある人の生活のための総合的な支援ができる体制の整備を進めてきています。</p> <p>●生活支援サービス基盤のさらなる整備を行うとともに、適切なケアマネジメントによるサービス提供を行っていくことが求められています。</p>	<p>◇障害者福祉センターにおいて、相談機能等強化を図った。</p> <p>◆ホームヘルプ利用実人数や障害福祉相談支援実施者数がここ数年著しく伸びている。必要な障害福祉サービス等を縮小することはできないが、サービス利用の適正化、相談支援事業の効率化を図りながら、事業費の増加の抑制を進める必要がある。</p> <p>障害者自立支援法が平成23年に改正され、平成24年4月から支給決定プロセスを見直し、サービス利用計画作成対象者の拡大が図られた。また、平成25年4月1日から障害者総合支援法へと法体系が変更となる。国の動向を注視する必要がある。</p>	障害のある人とその家族が地域で安心して生活できる！	居住サポート相談機関の数	機関	目標値	—	0	1	1	 0.0%
						実績値	0	0	0	—		

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	第1期計画期間における取組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位		H21	H22	H23	H24	目標達成度
20	障害のある人の社会参加の促進	○障害のある人が、就労・余暇活動など地域社会の様々な活動に安心して参加できるよう、その機会拡充を図る必要があります。 ●障害のある人もない人も、誰もが自らの意思と能力に基づいて、あらゆる活動に参画できる地域社会をつくっていくことが求められています。	◇障害のある人の諸活動への参加を支援するとともに、ふれあい・交流の場づくり等を推進した。点字および声の広報を希望される方に100%配布することができた。 ◆障害者生活支援制度の効率化を図りながら、事業費の増加の抑制を進める必要がある。 「コミュニケーション支援事業利用件数」は漸減しているが、医療、教育・保育のニーズは高く、今後も情報・コミュニケーションのバリアフリー化を図っていく。 障害者福祉センターの文化・教養講座受講者数やいきいき・ふれあい交流サロンについては、参加者数が着実に増加し、また満足度も増加している。 平成24年10月施行の障害者虐待防止法に関する啓発を行っていく必要がある。また、障害者総合支援法に係る動向を注視する必要がある。	障害のあるにかかわらず、互いを認め尊敬しあえるたくさんの出会いがある！	障害者福祉センターのふれあい・交流事業の参加者数	人（延べ）	目標値	—	1,700	1,800	1,900	 78.6%
							実績値	1,333	1,662	1,493	—	



◆地域福祉


No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	第1期計画期間における取組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位		H21	H22	H23	H24	目標達成度
21	「地域力」のあるまちづくり	○少子・高齢化や小世帯化、商店街の衰退などを背景に、隣近所のつながりが希薄化し、地域コミュニティの持つ「地域力」が低下しています。 ●小地域を単位とした相互の支えあいを強め、ひとり暮らし世帯や高齢世帯などが地域社会から孤立しないよう図っていく必要があります。	◇担い手の育成や各種団体等のネットワークを構築し「地域力」のあるまちづくりを進めてきた。 第1期において高齢者福祉の推進として補助制度を拡充しPR等に努めた結果、地域サロンの設置数は大幅に増加した。 ◆高齢者のみ世帯も増加しており、より「地域力」を高めることが重要。 地域高齢者見守り事業は、既存の活動との重複を勘案し、災害時要援護者避難支援制度として推進することとした。 東日本大震災の影響により、災害時要援護者登録も進んでいるが、さらにより多くの人達の登録を進める必要がある。また、町内会（自主防災組織）と連携し避難支援者を確保することが重要な課題である。	「向こう三軒両隣」で助け合える！	対象者に占める災害時要援護者名簿への登録者数	人（累計）	目標値	—	2,500	3,000	3,500	 79.6%
							実績値	0	2,094	2,785	—	

◆健康・保険


No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●課題】	第1期計画期間における取組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H21	H22	H23	H24		
22	市民の健康づくり	<p>○健康への関心が高まっている一方で生活習慣病への誤った認識が広がっている、また、医療ニーズが多様化しているなどの状況があります。</p> <p>●誰もがよい生活習慣を獲得できるように正しい知識を周知し、「自分の健康を自分で守る」「地域の健康づくりをリードする」市民を増やす必要があります。</p>	<p>◇子どもから高齢者まで全ての市民が健康でいきいきと暮らすことができるよう、情報提供やけん診・予防接種の実施、休日急病診療所の診療体制整備等を行った。健康推進員や市民団体の活動を支援し、地域に根ざした啓発活動を推進した。</p> <p>◆国の健康日本21（第二次）策定を受けた計画を策定する必要がある。</p> <p>草津市では、糖尿病および脳卒中への対策、こころの健康づくりが重要な課題となっている。</p> <p>食育について国方針が「周知」から「実践」に代わり、本市でも、より積極的な推進、庁内外関係機関との連携が求められている。</p> <p>がん検診については、特に死亡率の高い肺がんの早期発見が求められており、肺がん検診の早期実施に向けて関係機関との調整が必要である。</p> <p>予防接種事業において、ポリオワクチンが集団接種から個別接種となり、円滑な導入と接種勧奨の必要がある。</p> <p>湖南広域休日急病診療所の診療体制の強化、充実による湖南保健医療圏域での小児科をはじめとした望ましい初期救急医療体制の再構築が求められている。</p>	自ら健康づくりに取り組む人が増える！	健康推進員が実施する事業への参加者数	千人（延べ）	目標値	—	20.0	21.2	22.5	 100.0%
23	医療保険制度等の適正運用	<p>○高齢化の進展や医療の高度化などを背景に、医療保険等の制度を、将来にわたって持続可能なものとなるよう見直しが行われています。</p> <p>●保険者として現行制度を適正に運用するとともに、被保険者である市民の制度理解、健康管理意識の高揚などを図っていく必要があります。</p>	<p>◇国保制度の適正運用のため、医療費適正化対策として特定健康診査・特定保健指導を実施した。実施率向上のため、広報やホームページでの啓発とあわせて、個人通知や電話勧奨を行った。</p> <p>平成20年4月に創設された後期高齢者医療制度について、被保険者に理解いただけるよう周知するとともに、保険料の確実な徴収に努めた。</p> <p>◆医療保険制度の財政運営は厳しく、国が医療保険制度の在り方について検討しており、その動向を注視しながら運用する必要がある。</p> <p>医療費分析の結果から、草津市では、生活習慣病対策が健康課題となっている。生活習慣病の早期発見や予防のため、健診受診率の向上を図るなど、医療費適正化の推進に資する事業を実施する必要がある。</p>	医療保険制度が健全に運用されている！	特定健康診査受診率	%	目標値	—	50.0	60.0	65.0	 48.2%



◆生活安心

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●課題】	第1期計画期間における取組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H21	H22	H23	H24		
24	生活安定への支援	<p>○景気動向に伴う企業の低迷・倒産等によって、市民の間に生活の安定を確保することが困難な状況が生じています。</p> <p>●最低限度の生活保障のため、各種社会保障制度や生活保護制度の適正運用により総合的に支援する必要があります。</p>	<p>◇平成21年より社会福祉課に就労支援相談員を配置することでより充実した就労支援を行った。</p> <p>◆厳しい経済、雇用情勢により、就労相談から就職に結びつきにくい環境が継続している。関係機関との連携をさらに強め、就労に係る情報提供やフォロー体制を充実させていくことが課題である。</p>	最低限の生活が保障されている！	自立を理由として生活保護を廃止したケースの比率	%	目標値	—	5.0	5.0	5.0	 70.0%
25	暮らしの安心の確保	<p>○消費者トラブルが複雑化するなか、国では消費者庁を新たに設置し、対応の強化を図っています。</p> <p>●消費生活相談のさらなる増加・複雑化に備え、消費生活相談員による相談体制の充実と消費者団体の育成にいっそう努める必要があります。</p>	<p>◇市民相談員の技量向上を図るため研修会等に積極的に参加し自己研鑽に努めた。また難解な事案は、弁護士・司法書士などの法律家や専門相談機関へ繋いだ。</p> <p>消費生活相談員を2名から3名に増員し、相談支援体制の充実・強化を図るとともに消費者被害防止のための「出前講座」や教育・啓発活動に積極的に取り組んでいる。「草津市食の安全アクションプログラム」に基づき、「食の安全こだわり宣言」を中心に、市民が正しい知識と高い意識を持てるよう啓発事業を行った。</p> <p>◆市民相談に的確に対応するため、市民相談員の技量の向上、法律の専門家や関係行政機関、庁内組織との連携が重要である。平成24年3月に社協が移転したため、市民相談室の利用が大幅に増加しており、目標値の見直しが必要である。家族関係や近隣関係の希薄さによるトラブル、精神疾患に起因する相談の増加が今後さらに見込まれる。市民相談や消費生活相談にあたる相談員は、一次的な福祉分野での相談窓口となれるよう知識の習得に努める必要がある。</p> <p>生肉の問題や食品における放射性物質の問題など、食の安全に関する問題はこれからも継続することから、継続的な啓発活動、出前講座などによる知識と意識の向上を図る必要がある（消費者行政活性化交付金が平成24年度限りのため、支出抑制の中でより効果的な啓発方法の模索が必要）</p>	安心して消費生活ができる！	消費生活相談件数	件	目標値	—	1,090	1,090	1,090	 90.3%

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●課題】	第1期計画期間における取組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H21	H22	H23	H24		
26	火葬場・墓地の適正管理と公衆衛生の向上	<p>○火葬需要に適切に対応し、遺族等へのサービスの向上と墓地の適正管理に努めています。</p> <p>●火葬場の老朽化が進んでいること、また、野々花霊苑など公営墓地に対する空きへの需要に対応していく必要があります。</p>	<p>◇平成23年度に耐震補強工事、耐火レンガの積替えやバーナー部品の交換など、火葬場や火葬炉の維持管理を行っている。</p> <p>野々花霊苑は管理料納付率100%。清掃や草刈業務の外部委託を始めるなど適正な管理に努めている。</p> <p>毎年、狂犬病予防注射の集合注射を実施しており、飼い主が狂犬病予防法で定める畜犬登録や狂犬病予防注射実施の啓発に努めている。</p> <p>◆環境面への配慮のため排気筒等の改修を行い排ガス等の対策を強化する必要がある。</p> <p>墓地管理では、今後とも使用者の承継の徹底や墓地管理上のルール周知などを進めていく必要がある。</p> <p>犬の飼育頭数が増加する中、今まで以上に飼い主のマナー啓発を進めていく必要がある。</p>	飼い犬はすべて狂犬病の予防注射を行っている！	狂犬病予防接種率	%	目標値	—	70.0	70.0	70.0	 100.0%
						実績値	66.9	73.9	74.9	—		


◆防犯・防災


No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●課題】	第1期計画期間における取組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H21	H22	H23	H24		
27	災害に強いまちづくり	<p>○まちづくりの基本として市民生活の安心を守っていくため、地震や火事等の災害に対するまちの備えを強化充実させてきています。</p> <p>●都市基盤整備による防災機能の強化や建築物の耐震化を図るとともに、市民意識の高揚と防災・消防体制の強化充実が求められています。</p>	<p>◇町内会の自主防災組織を対象に補助金交付や出前講座を実施し、防災意識の向上、学区・地区ごとの説明会による、災害時要援護者登録制度の普及啓発、市内一斉緊急放送システムの整備や防災行政無線のデジタル化による、情報伝達体制の確立・強化を図った。</p> <p>◆学区地区ごとに取り組み状況に差が生じているなかで、市域全体のレベルアップを図るため、市民防災員の養成、自主防災組織の活性化の取り組み、学区・地区全体にスポットを当てた事業の展開が必要である。</p>	地域防災の意識が高い！	自主防災組織率	%	目標値	—	93.1	95.6	98.0	 89.3%
						実績値	87.7	88.4	87.5	—		

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●課題】	第1期計画期間における取組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H21	H22	H23	H24		
28	犯罪のないまちづくり	<p>○市民一人ひとりの防犯意識と、地域コミュニティの醸成による犯罪抑止力の向上を図ることで、犯罪のないまちづくりを進めてきています。</p> <p>●市民の防犯意識のいっそうの向上と地域防犯活動の展開、また、不安箇所の解消等によって犯罪を未然に防ぐまちづくりをさらに進める必要があります。</p>	<p>◇地域住民や警察と連携した啓発活動の展開、市防犯灯の省電力化や一括集中整備、平成24年度からは町内会防犯灯のLED化を支援するＬーチェン事業（防犯灯LEDチェンジ事業）を開始した。</p> <p>◆増加している自転車盗の削減が課題であり、一般市民に加えて民間駐輪場事業者への盗難対策に関する普及啓発が必要である。警察と連携しながら、ひったくりや車上狙い、振り込め詐欺などについて市民への啓発を実施する。</p>	犯罪認知件数が減る！	犯罪認知件数	件	目標値	—	1,500	1,000	1,000	 54.1%
							実績値	2,000	2,118	1,850	—	
29	治水対策	<p>○市内に、排水能力が不足している河川が存在していることから、大雨時に河川の氾濫が危惧されます。</p> <p>●重点整備による効率的な整備が必要ですが、雨水排除に重要となる一級河川整備の進捗の遅れが、雨水整備計画の支障となっています。</p>	<p>◇大雨による家屋等の浸水被害の軽減・防止を図るため、雨水排水路の整備や、河川・水路の補修整備を行い、雨水排水能力の維持・向上を図った。</p> <p>◆洪水ハザードマップに内水の情報を加えるなど高度化を図り、市民の防災意識向上に努める。また、国補予算内示額の不足により延期した工事があり、予算確保に努め事業の推進を図ることが必要。</p>	治水対策が進んでいる！	雨水排水路整備率（進捗／計画） ※（）内は認可面積見直し後の数値	%	目標値	—	66	67.8 (65.5)	68.2 (65.9)	 88.3% (84.5%)
							実績値	62	62	60.2 (62.3)	—	



「心地よさ」が感じられるまちへ

◆うるおい・景観

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●課題】	第1期計画期間における取組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H21	H22	H23	H24		
30	やすらぎ・憩いの環境づくり	<p>○市域の広範囲で開発事業による宅地化が進んでいますが、市民がやすらぎと憩いを得られる場所が不足しています。</p> <p>●総合公園から街区公園まで、利用目的に応じた公園の整備が求められるとともに、まちなみに緑を増していくことが求められています。</p>	<p>◇「緑の基本計画」に基づき「みどりを守り、つくり、育てる」事業を実施した。草津川跡地整備について市民説明会（13学区・地区）を行い、利用に係る基本計画策定の取組みを進めている。</p> <p>◆ロクハ公園は開園後20年以上が経過し、施設の老朽化が進み、計画的な改修が必要である。草津川跡地整備に向けて、近隣住民を含めた合意形成のための市民参画の手法、運営管理の手法を検討する必要がある。</p>	市民が利用できる公園・緑地が増える！	公園・緑地面積	ha	目標値	—	64.5	64.6	64.7	 100.0%
							実績値	62.6	67.2	67.4	—	



No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●課題】	第1期計画期間における取組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H21	H22	H23	H24		
31	良好な景観の保全と創出	<p>○優れた景観は、市民の心に安らぎやゆとりをもたらすだけでなく、この地を訪れる人にまで感動を与える市民共通の財産です。</p> <p>●歴史的・文化的資産を生かした景観、自然景観などを保全・活用するとともに、良好なまちなみ・都市景観の創出を進めていく必要があります。</p>	<p>◇景観計画を策定。同時に、屋外広告物の設置に関する基準等も検討し、市独自の屋外広告物条例について検討した。景観フォーラムやくさつ景観百選、各学（地）区への説明会やまちあるきの開催などを通じた普及啓発や新たな景観資源の発見に取り組んだ。</p> <p>◆普及啓発を継続し、各地域での景観に対するルールの策定により景観形成を行っていきけるよう支援する。</p>	誰もが快適で心地いいと感じる場所が増える！	市内および居住地周辺の景観に好感が持てると感じる市民の割合	%	目標値	—	28.0	28.0	31.0	 100.0%
						実績値	27.5	31.5	33.4	—		

◆環境



No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●課題】	第1期計画期間における取組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H21	H22	H23	H24		
32	自然とともに生活する環境づくり	<p>○生物多様性に配慮した開発・まちづくりが、ひいては、人とまちにうるおいと豊かさをもたらすことが、広く認知されてきています。</p> <p>●自然の一部として人がこの地に生きるうえで、もともとある地形や生物多様性に十分な配慮をすることが求められます。</p>	<p>◇自然環境保全地区への助成金の交付、追加指定候補地の選定・指定を行った。保護樹木の治療・補修費用に補助金を交付。</p> <p>◆自然環境保全地区の追加指定について、規模要件の見直し等の検討が必要。水鳥観察会、いきもの調査は参加者数増加に向け内容や周知方法の工夫が必要である。</p>	多種多様な生物が息づく空間が増える！	自然環境保全地区	地区	目標値	—	15	15	17	 94.1%
						実績値	15	15	16	—		
33	環境学習の充実	<p>○次世代を担う子どもを主な対象として、総合的な環境学習の展開を進めています。</p> <p>●持続可能な社会実現のため、環境学習の重要性がますます高まっており、「くさつエコ・ミュージアム」のいっそうの充実・活用が求められます。</p>	<p>◇環境学習に関わる様々な活動情報を提供・発信できる場づくりや、環境学習に取り組む人・団体などの活動支援を図るため、くさつエコ・ミュージアムの活用や子ども環境会議の開催を通して啓発に努めている。</p> <p>◆施設等の閉鎖や統廃合などによってくさつエコ・ミュージアムの業継続が困難になること、子ども環境会議の参加団体減少が懸念される。</p>	環境学習に参画する団体が増える！	子ども環境会議参加団体数	団体	目標値	—	57	59	61	 91.8%
						実績値	55	59	56	—		

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	第1期計画期間における取組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H21	H22	H23	H24		
34	地球温暖化対策への貢献	<p>○温暖化防止条例（「愛する地球のために約束する草津市条例」）の施行を受け、温暖化対策地域推進計画に基づく諸施策を実施しています。</p> <p>●低炭素社会の実現を目指し、地球温暖化対策についての周知・広報に努めるとともに、省エネルギー、新エネルギー利用の促進を図ります。</p>	<p>◇平成21年3月に「草津市地球冷やしたい推進協議会」を設立、地球温暖化対策を推進している。省エネルギー対策として、家庭のエコライフ推進、事業所における省エネ診断、エコドライブの推進などの事業を実施。新エネルギー利用促進に向け、住宅用太陽光発電の設置費補助を実施。</p> <p>◆地球冷やしたい推進協議会の活性化に向け、会員加入の促進、会員メリットとなる活動支援策が必要。平成24年度から二酸化炭素の削減効果が高い創エネルギー機器（エネファーム、エコウィル）への設置費補助を開始。</p>	地球温暖化対策に関する市民活動が活発である！	地球温暖化対策に取り組む市民の割合	%	目標値	—	57.0	59.0	61.0	 83.6%
						実績値	54.9	50.4	51.0	—		
35	資源循環型社会の構築と廃棄物の適正処理	<p>○イベント等を通じ、市民のリサイクル、ごみ減量・資源化の推進や環境美化の推進を図るとともに、廃棄物の適正処理を行ってきています。</p> <p>●資源有効活用についての啓発、指導等を積極的に行って市民の意識を高め、実践行動をさらに促進していく必要があります。</p>	<p>◇平成23年10月にごみ分別区分変更。市民（団体）への出前講座等による啓発、資源回収活動奨励金制度や、生ごみ処理容器等購入補助を行っている。</p> <p>◆より一層の分別徹底を図るため、市民への啓発が必要である。特に古紙回収について拡充が求められる。ごみ量の4割近くを占める事業系一般廃棄物の減量・リサイクルの推進が必要。また、不法投棄の多様・悪質化が進んでおり、地域と警察との連携により新たな対策を講じる必要がある。平成28年度中の新廃棄物処理施設の稼働を旨とし準備が必要。また、整備までの間、現焼却処理施設の性能・能力の維持が必要。市内に最終処分場がなく、埋立廃棄物の安定的処分には早急な整備が必要。</p>	家庭や事業所からでるごみの量が減る！	ごみの資源化率	%	目標値	—	15.7	22.3	22.5	 81.8%
						実績値	15.6	16.3	18.4	—		
36	環境汚染・公害への適切な対策	<p>○必要な環境調査・環境影響評価等を実施し、公害規制基準の遵守と公害リスクの管理を行ってきています。</p> <p>●住工混在地域での騒音、悪臭など、生活に身近な環境公害が増えてきています。</p>	<p>◇市内7河川について定期的な水質調査を行い、2河川については環境管理基準の達成状況を確認。特定工場に立入りし、必要に応じて指導を行った。</p> <p>◆狼川の水質悪化原因を探り、改善へ向けて対策を講じる必要がある。事業所付近あるいは隣接する土地に宅地開発が進んでいるため、市民からの問い合わせが増加している。</p>	環境基準が常に達成されている！	環境管理基準(BOD)の達成状況 (達成回数/測定回数)	%	目標値	—	24/24	24/24	24/24	 87.5%
						実績値	21/24	21/24	21/24	—		




◆住宅・住生活

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	第1期計画期間における取組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H21	H22	H23	H24		
37	住まいと住生活の魅力向上	<p>○昭和40年代から住宅開発が大きく進み、近年は大学の立地もあいまって、JR駅周辺を中心とした“まちなか”の市街地整備と住宅開発が続いています。</p> <p>●成熟の段階を迎えた既成市街地の良好な環境を守るとともに、ゆとりとうるおいある市街地整備・住宅開発を誘導していく必要があります。</p>	<p>◇公営住宅の計画的な建替え・改修を実施。「草津市住宅マスタープラン」「草津市市営住宅長寿命化計画」を策定。市街地再開発事業支援団体の活動を支援し、草津駅東口周辺の都市機能の整備の検討を行った。</p> <p>◆市民ニーズの変化や地元調整の進捗、国庫補助の動向などに十分留意し「住宅マスタープラン」「市営住宅長寿命化計画」の事業を進める必要がある。中心市街地である既存商店街の活力の低下や、木造家屋の密集地帯における災害の危険性の増大などの問題があり、市街地再開発事業等の手法を活用しながら、有効な土地利用が図れるよう誘導していく必要がある。</p>	誰もが住みたい・住み続けたいと感じる、魅力と安心がある！	良好な居住環境が形成されていると感じる市民の割合	%	目標値	—	54.0	56.0	58.0	 100.0%
38	“まちなか”の魅力向上	<p>○“まちなか”では、計画的な市街地整備が進む一方で木造住宅の密集した地区もあり、防災面も含めて、複合的な課題が残された居住環境となっています。</p> <p>●JR草津駅東地区等の密集した市街地において、都市基盤整備と都市機能の更新を図り、“まちなか”の居住環境の質的向上を図っていく必要があります。</p>	<p>◇平成21年度に「中心市街地再生計画案」を策定し、平成22年度は重点化方針や整備の方向性をとりまとめた。</p> <p>◆平成23年度は草津まちづくりNPO等を含めて「まちなかステップアップ計画」の策定を進め、法に基づく「中心市街地活性化基本計画」の策定へと発展させた。平成24年度はこれまでの中心市街地活性化の取り組みを総括するとともに、JR草津駅西口を新たに中心市街地エリアに含め「中心市街地活性化基本計画」を策定し、国からの支援を受け、強力に事業を進めていく必要がある。事業を期間内に進めるため「まちづくり会社」の設立や「中心市街地活性化協議会」等の組織化を行う必要がある。</p>	“まちなか”に人がつどい、ゆっくり楽しんでい	“まちなか”に魅力があると感じる市民の割合	%	目標値	—	19.0	19.0	22.0	 100.0%

◆上下水道



No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●課題】	第1期計画期間における取組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H21	H22	H23	H24		
39	水の安定供給	<p>○本市の水道は昭和39年から一部給水を開始し、人口急増に対応しながら拡張事業を着実に進め、概ね100%の普及率となっています。</p> <p>●老朽化が進む初期に整備した水道管や施設の更新・耐震化を推進し、適切な維持管理を行うことが最大の課題となっています。</p>	<p>◇老朽化が進む導水管や配水管、浄水場施設等の更新・整備について、優先順位、年次計画等を立案しながら工事を実施した。</p> <p>上水道の配水管や導水管の日常的な漏水調査を実施し、速やかな修繕工事を行った。</p> <p>浄水場は施設の日常点検及び整備の実施により、適正な維持管理を行った。</p> <p>現状分析と課題把握を行い、長期的な視野からの経営戦略となる「草津市水道ビジョン」を策定した。</p> <p>◆浄水施設、管路施設は、管理運営にアセットマネジメントを取り入れ延命化を図っていく必要がある。</p> <p>日常的な水質管理や維持管理を行い、適切な時期に機器の整備をする必要がある。</p> <p>導水管整備更新事業（県との共同事業分）の国庫補助対象分は、国や県の財政事情により進捗が懸念されることから、計画どおり完了するよう要望していく必要がある。</p> <p>平成24年度より耐震補強関連事業が本格化する中で、当該事業が経営に与える影響を的確に把握し、計画的な事業遂行および水道ビジョンのフォローアップを行う必要がある。</p>	エコにも配慮したローコストで安心・安全な水を、いつでも利用できる！	水の安定供給に対して不満を感じている市民の割合	%	目標値	—	5.9	5.4	4.9	 100.0%
							実績値	5.9	5.6	4.8	—	
40	汚水の適正処理	<p>○快適な暮らしを実現し、琵琶湖を取り巻く水環境を守るために、市民・事業者等がすべて下水道に接続し、適正に管理することが大切です。</p> <p>●未整備地域があとわずかとなった今、下水道施設の普及促進と老朽化した施設の更新や機能強化などの適切な維持管理が求められます。</p>	<p>◇水洗化の普及および下水道施設の適正な使用について広報やホームページで啓発を行った。</p> <p>下水道の普及率の向上を図るとともに適正な維持管理に努めた。</p> <p>◆琵琶湖を取り巻く水環境を守るため水洗化啓発を実施していく必要がある。</p> <p>下水道未整備地域の解消を図るとともに、下水道の老朽施設の効率的な改築更新を行うため長寿命化対策を推進する必要がある。</p> <p>大地震に備えた主要な下水道施設の耐震化対策と被災時を想定した応急的な汚水処理対策を行う必要がある。</p> <p>農業集落排水処理場の操作盤や機器類の経年劣化による更新を行う必要がある。</p>	市内の水洗化が完了する！	水洗化率 (処理区域内水洗化人口/処理区域内人口)	%	目標値	—	93.8	94.4	95.0	 100.0%
							実績値	93.2	95.0	95.0	—	

◆道路・交通



No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	第1期計画期間における取組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度		
							H21	H22	H23	H24			
41	安全で快適な道路づくり	<p>○主要幹線道路における交通量の増加と整備の遅れ等によって慢性的な交通渋滞が生じており、生活道路への交通流入量も増加傾向にあります。</p> <p>●主要幹線道路および生活道路、また、歩道・自転車道等の、計画的・体系的な整備と安全で快適な道路空間の整備が求められています。</p>	<p>◇国・県に対して、県都市計画道路大津湖南幹線、山手幹線および栗東志那中線の整備、平野南笠線整備への早期着手の要望を行った。</p> <p>市内の交通円滑化や安全で快適な道路環境の充実に向け、都市計画道路大江霊仙寺線（川ノ下工区）の整備、市道や歩道等の整備、交通安全施設等の整備を進めた。</p> <p>◆国・県に対して、引き続き要望活動を行う必要がある。今後も計画的かつ体系的な道路や交通安全施設等の整備を推進する必要がある。</p>	スムーズに通行でき、草津らしさを感じる道路景観がある！	環状道路および主要な都市計画道路等の整備率 (整備済延長/整備予定延長)	%	目標値	—	66.5	66.5	66.5	—	 100.0%
42	公共交通体系の充実	<p>○公共交通空白地等の解消、移動制約者の生活交通の確保などの課題に対し、「草津市地域公共交通活性化再生協議会」を設置し検討を進めています。</p> <p>●市民・来訪者の移動利便性・生活利便性を高めるため、新たな公共交通システムを整備していく必要があります。</p>	<p>◇コミュニティバスの運行により公共交通の利用促進、バス路線網を再構築、総合的な交通ネットワークの整備に取り組んだ。また、利用促進に向け、ワークショップの開催や各種イベント等に参加し、市民への周知を行った。今年度も引き続き啓発に取り組む。</p> <p>◆来年度の本格運行に向けて路線の統廃合、ダイヤ改正、運行継続が困難な路線での代替案などの検討を行い、持続可能な形態を構築する必要がある。</p>	公共交通機関が便利で市内の移動がしやすい！	公共交通機関の利便性に満足している市民の割合	%	目標値	—	40.0	43.0	45.0	—	 81.3%
43	バリアのないまちづくり	<p>○公共公益的な建築物等に対してバリアフリー化を指導していますが、県の条例に強制力がないことから、整備が進まない状況にあります。</p> <p>●今後とも、継続的かつ精力的にバリアフリー化の促進を図り、指導を行うとともに、市内移動の円滑化を進めていく必要があります。</p>	<p>◇平成21年度に「草津市バリアフリー基本構想」を策定し、その基本構想に基づき、各事業主体が行う事業計画の進捗管理を行っている。</p> <p>◇バリアフリー基本構想の進捗を確認していく必要がある。</p>	車いすで“まちなか”を自由に移動できる！	まちに障壁(バリア)が少ないと思う市民の割合	%	目標値	—	23.0	24.0	25.0	—	 100.0%



「活気」があふれるまちへ

◆農林水産

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	第1期計画期間における取組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H21	H22	H23	H24		
44	農業の振興	<p>○食と農への消費者の関心が高まる一方で、農業者の高齢化等により、農村活力の低下と本市農業の担い手不足がいつそう深刻化してきています。</p> <p>●業として成り立つ農業経営の確立と活力ある農業人材の確保、また、食育と連携した地産地消の仕組みづくりが求められます。</p>	<p>◇草津市農業振興計画に基づき、「農」のあるまちづくりを進めている。農業者戸別所得補償制度活用のため、農業再生協議会を立ち上げ、施策展開を図っている。</p> <p>◆平成23年度から本格実施された農業者戸別所得補償制度において、水田農業の経営安定と国内生産力の確保を図っていくとともに、平成24年度から実施される人・農地プランにおいて、農地の利用集積や担い手（中心となる経営体）のあり方等について、今後の地域農業の展望を描いていく必要がある。また、地域農業の活性化の有力な手法である6次産業化について、その可能性を探っていく必要がある。草津用水二期事業計画に基づく施設更新とアセットマネジメントの考えによる事業の展開を進め、農業基盤の整備に取り組む必要がある。</p>	地元農産物を求める市民が増える！	地元の農産物を購入するよう心掛けている市民の割合	%	目標値	—	66.0	68.0	70.0	 85.9%
						実績値	63.8	59.0	60.1	—		
45	水産業等の振興	<p>○琵琶湖の水質汚濁や湖岸堤整備、侵略的外来魚の定着等を要因に漁獲量は年々減少し、水産業者も高齢化や後継者不足が著しく進んでいます。</p> <p>●漁場環境の保全・確保と栽培漁業への転換、また、観光漁業など経営の多角的展開を進めて、水産業基盤の確立と後継者確保を図る必要があります。</p>	<p>◇漁場の環境保全を図り、漁業資源の安定確保に努めるとともに、草津水産まつり等のイベントの展開や観光行事との連携によって湖魚や地元水産物の消費拡大を図った。また、外来魚や藻の発生状況が与えている影響についても周知し、水産振興に努めた。</p> <p>◆水産業の振興にかかると事業は琵琶湖の生態系のあり方に起因するところが大きい。湖魚の消費拡大を中心として、獲るから育てる漁業、体験など観光事業等の連携が必要</p>	琵琶湖固有の魚が増え、その魚を買う人が増える！	地元の水産物を購入するよう心掛けている市民の割合	%	目標値	—	34.0	35.0	36.0	 95.3%
						実績値	33.8	36.6	34.3	—		

◆商工観光

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●課題】	第1期計画期間における取組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H21	H22	H23	H24		
46	工業の振興	<p>○恵まれた交通の利便性のもとで企業立地が進んでいることに加え、ベンチャー企業育成施設や技術力の高い中小企業等が集積しています。</p> <p>●まとまった用地の確保と併せた企業立地優位性の対外発信や、積極的な企業支援、中小企業等の技術力のPRと販路の開拓・拡大が求められます。</p>	<p>◇平成21年3月に策定した「草津市工業振興計画」に基づき、異分野融合の促進やベンチャー・中小企業等の成長段階に応じた支援、付加価値の高い製品を製造する企業の集積を目的とした積極的な企業誘致等、各種事業を実施し、市内産業の振興を図った。</p> <p>◆市内製造業者を取り巻く環境が激変しているなか、引き続き草津イノベーションコーディネータの配置により、市内企業の現況・ニーズを把握し、産学間、企業間、支援機関等との日常的な交流・連携を促しながら国や県、市等の各種支援制度を効果的に案内することが必要である。</p> <p>企業立地助成制度の内容が県内他市の制度内容と比して相対的に低く、企業誘致における都市間競争で劣勢の状況にあり、新規工場立地のさらなる促進と市内既存企業の空洞化の抑制を目的とした制度の拡充について検討する必要がある。</p>	元気な企業がたくさん集まる！	創業・第二創業した企業の立地件数	企業（累計）	目標値	—	13	17	21	 85.7%
						実績値	9	11	18	—		
47	商業の振興	<p>○本市を含む琵琶湖南部地域は、非常に消費購買力が高く、全国でもまれに見る大型商業施設の集積地となっています。</p> <p>●既存商店街対大型商業施設という構図ではなく、両者の強みを引き出して共存の枠組みをつくり、地域経済発展の地盤としていく必要があります。</p>	<p>◇商工業の振興、特に小規模企業者および中小小売業者の育成と中心市街地活性化事業の取り組みに努めた。</p> <p>◆平成23年度から南草津駅周辺地域の商工業振興、地域コミュニティの醸成、震災復興支援を目的に「みなくさまつり」が開催された。今後も南草津のまちづくり、地域活性化のため、事業継続を図る必要がある。</p> <p>平成24年度から「中心市街地活性化基本計画」の策定に取り組んでおり、草津川跡地利用を含めて、中心市街地の活性化、街なかの賑わいを創出する施策や事業の展開を図っていく必要がある。</p> <p>商工会議所との連携を強化し、セーフティネット資金制度の動向を踏まえながら、引き続き中小企業者の経営安定、商業活動の活性化を図るための施策を展開していく必要がある。</p>	市内の商業者が活発に活動する！	買い物する環境が整っていると思う市民の割合	%	目標値	—	67.0	68.0	69.0	 100.0%
						実績値	66.0	71.5	76.8	—		


No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	第1期計画期間における取組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H21	H22	H23	H24		
48	観光の振興	<p>○本市の観光入込客数は、“観光元年”である平成8年以降、毎年微増傾向にありますが、その多くは日帰りによる立寄り観光となっています。</p> <p>●来訪者の観光ニーズに敏感に応えられるよう、広域的な連携も図りながら、限られた観光資源を最大限に生かした事業を展開することが求められます。</p>	<p>◇誘客イベントを支援するとともに、地元の観光資源を活かしながら、草津市の魅力を全国へ発信する観光宣伝活動に取り組むなど、複合的な観光振興事業を展開した。</p> <p>◆平成24年度に「草津市シティセールス戦略プラン」を策定し、観光資源や特産品などを草津ブランドとして活用する具体的な戦略を立てる必要がある。</p> <p>水生植物公園みずの森と琵琶湖博物館との共同企画による観光プランの開発や、湖南地域における広域連携型の観光ルートの開発など、限られた観光資源の中で新たな魅力をつくり、観光客誘致に取り組む必要がある。</p> <p>観光振興に向け、観光物産協会と観光ボランティアガイド協会への活動支援を行い、新たな地域資源の発掘や情報発信など、更なる事業展開を図る必要がある。</p>	草津を楽しむ観光客が増える！	観光の振興に満足している市民の割合	%	目標値	—	17.0	19.0	21.0	 82.4%
							実績値	15.0	18.0	17.3	—	
49	勤労者福祉の増進	<p>○社会・経済情勢の厳しさが継続するなか、勤労者を取り巻く環境もますます厳しさを増しています。</p> <p>●豊かでゆとりある暮らしと活力ある地域社会の基礎として、誰もが安心して働くことができる環境を守っていくことが、ますます求められています。</p>	<p>◇「草津市勤労者福祉基本方針」に基づき、勤労者教育資金貸付事業や勤労者福祉団体への事業補助を実施し、平成23年3月「草津市勤労者福祉基本方針」を改訂した。</p> <p>◆厳しい経済情勢・雇用情勢の中で勤労者福祉増進のため、一人ひとりの暮らしの充実に向けた取り組みに対する支援、勤労者の自己実現や日常生活の充実に向けた取り組みに対する支援を今後も継続する必要がある。</p>	安心して働き暮らせる！	雇用が安定し、働きやすい労働環境であると感ずる市民の割合	%	目標値	—	13.0	15.0	17.0	 87.6%
							実績値	10.9	12.3	14.9	—	

◆コミュニティ・市民自治


No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	第1期計画期間における取組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位		H21	H22	H23	H24	目標達成度
50	地域コミュニティ活動の活性化	○町内会、自治連合会など、地域づくり組織によって、それぞれの地域で特色ある活動が展開されています。 ●コミュニティ意識の高揚を図りながら、地域が一体となった取り組みを展開できる仕組みづくりが求められます。	◇町内会が実施するふるさと意識醸成の取り組みや環境に対する事業への支援、集会所の整備・改修に関する支援を行った。 地域内分権の推進に向け、11学（地）区でまちづくり協議会の設立に向けた支援を行った。 ◆地域コミュニティの根幹である町内会の設立や加入促進についても事業として追加すべきである。 今後、まちづくり協議会の活動拠点として市民センター（公民館）を地域まちづくりセンターと改称し、それらの管理と併せて、防災や福祉、まちづくり講座など、様々な分野において地域独自の取り組みを展開できるよう検討を進めている。	地域コミュニティ活動への“参加の窓口”がさまざまに用意されている！	町内会の活動に参加している市民の割合	%	目標値	—	59.0	63.0	67.0	 80.7%
							実績値	55.9	49.6	54.1	—	
51	市民活動の活性化	○テーマによるまちづくりや地域づくりに取り組むNPO・ボランティア・各種団体の育成と支援を行っています。 ●市民活動団体間の交流・情報交換を活発にし、各地域のまちづくりの取り組みとの連携を促していくことが求められます。	◇「草津市市民協働推進計画」に基づき、市民公益活動を推進している。 地域コミュニティやテーマ性を持った市民活動団体への中間支援を担う、（公財）草津市コミュニティ事業団を支援した。 ◆団体構成員の高齢化が進んでおり、解散される団体が増加傾向にあるものの、市内にNPO法人が新しく設立されていることなどから、団体の入れ替え時期にあるものと考えられる。	市民活動団体が幅広い分野で活動している！	市民活動等の団体数	団体	目標値	—	250	260	270	 90.0%
							実績値	238	238	243	—	
52	市民主体のまちづくりを支援する体制の充実	○各種のまちづくり支援拠点における市民活動や、地域協働学校の取り組みなど、様々なまちづくり活動が展開されています。 ●各支援施設・機能の整備活用の経緯や状況を踏まえながら、市民主体のまちづくり活動の支援体制を再構築していく必要があります。	◇（公財）草津市コミュニティ事業団と連携を図り、市民公益活動団体の活動拠点施設を市民が利用しやすいよう運営し、利用者数の増加につなげた。 市民公益活動団体から企画提案を募集し、市と協働で事業を進める『市民まちづくり提案事業』を平成22年度より実施した。 ◆公益的活動に取り組む登録団体数が団体構成員の高齢化により減少傾向にあり、活動団体の増加に向けた対策が求められる。 協働事業の提案件数は制度を続けていくと減少していく傾向にある。【応募型】のテーマ数増加や応募団体の要件を緩和することにより、提案件数及び事業化件数を維持させることが必要である。	市民まちづくり活動の支援体制が充実している！	市立まちづくりセンターの利用者数	千件（延べ）	目標値	—	90.0	91.0	92.0	 100.0%
							実績値	89.0	101.0	101.8	—	

◆情報・交流

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	第1期計画期間における取組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位		H21	H22	H23	H24	目標達成度
53	まちづくり情報の提供の充実	<p>○市民によるまちづくり活動が様々に高まりを見せ、各活動がネットワークして、互いの情報を有効に活用していく段階へと進んできています。</p> <p>●まちづくりに係る地域情報や行政情報は多岐にわたって膨大であることから、より活用できる工夫を図ることが求められます。</p>	<p>◇（公財）草津市コミュニティ事業団が地域ポータルサイト「くさつ情報ネット」を運営し、地域の総合的なまちづくり情報やサービスの提供、地域活性化を図った。また、平成22年度に「くさつ情報ネット」をリニューアルし、周知・啓発等によりアクセス数の増加を図った。「広報くさつの発行」「ホームページの適切な運営」「パブリシティー活動の推進」を実施した。</p> <p>◆（公財）コミュニティ事業団と市の情報発信の内容面での棲み分けを図り、市民サイドの情報発信を充実していくことが求められる。市ホームページのアクセス件数増加に向けた工夫が必要である。市が発信したい事案がタイムリーに新聞等の媒体にて報道されるよう、パブリシティー活動を図る。既存の媒体以外の新たな媒体について、実効性について検討が必要である。</p>	地域のまちづくり情報が簡単に手に入る！	ポータルサイトアクセス数	千件（延べ）	目標値	—	60.0	62.0	64.0	 100.0%
54	多様な交流活動の展開	<p>○市民の交流活動は、文化や地域の垣根を越えた広がりを見せています。</p> <p>●多文化交流・市民交流の促進を図るとともに、近隣自治体との連携により、効率的で効果的なまちづくりを進めていく必要があります。</p>	<p>◇草津市国際交流協会（KIFA）を支援し、各種講座・国際交流イベントの開催等、市民に国際交流の場を提供するほか、自主的な交流活動の場を促すことにより地域内での国際交流の推進を図った。湖南総合調整協議会、草津線複線化促進期成同盟会により、継続的な活動を行った。</p> <p>◆平成23年度にKIFAビジョンを改定。事業実施だけでなく、関係機関・団体との役割分担や協働のあり方について見直しを行い、地域の国際化の推進を図っている。平成23年度開始のわくわく異文化交流事業は各校が活用しやすく、教育課程で位置づけがしやすい事業に改善していく必要がある。湖南総合調整協議会については、JR西日本への要望活動以外には特に4市で連携する活動が無い。草津線複線化促進期成同盟会については、昨今の人口減少の動向から、JRは複線化に対して極めて慎重な姿勢である。平成24年1月に、草津市と栗東市の広域行政課題解決のため、草津・栗東広域行政調整会議を設置した。両市の広域行政の諸課題について連携調整を図る必要がある。</p>	新しい出会いとふれあいがある！	国際交流事業参加者数	人	目標値	—	350	360	370	 100.0%
							実績値	58.0	57.6	110.7	—	
							実績値	334	524	848	—	

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	第1期計画期間における取組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位		H21	H22	H23	H24	目標達成度
55	大学などを生かしたまちづくりの展開	○立命館大学との連携・協力を更に推進する仕組みづくりをするための気運が、大学・地域とも高まっています。 ●立命館大学の知的、人的資源を更に活用し、地域の課題解決に向けて取り組むことが求められています。	◇立命館大学等との共同研究活動やサービスラーニング事業等に取り組んだ。 ◆円滑な事業実施に向け立命館大学等との連携協力の体制整備が必要である。 平成27年度に予定されている立命館大学経営学部等の茨木キャンパスへの移転問題を含め、大学と地域との連携のあり方についてのビジョンが求められる。	学生が地域で活躍している！	地域交流市内依頼件数	件	目標値	—	150	180	200	 71.0%
							実績値	132	148	142	—	

行財政マネジメント

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	第1期計画期間における取組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位		H21	H22	H23	H24	目標達成度
56	市民から信頼される市政運営	○草津市情報公開条例に基づき、積極的に市政情報を公開するとともに、市民窓口サービスの提供等に努めています。 ●市政の透明性の確保と市民サービスの向上を図るため、今まで以上の積極的な情報公開と市民窓口サービス等の充実が求められます。	◇情報公開、個人情報の保護、「草津市自治体基本条例」の策定検討、建設事業契約審査等の適正処理を行い、行政の透明性の向上と公正の確保に努めた。 行政システム改革の推進と事業の見直しとして、事業仕分け、「第2次草津市行政システム改革の推進に向けて」の策定などを実施。 市民課前フロアに2名の案内職員の配置、住所異動や相談等の窓口をローカウンターとし、着席面談方式に変更するなど市民窓口サービスの充実に取り組んでいる。 ◆今後は「草津市自治体基本条例」の施行により、より一層、情報の適正な管理、公開等、行政の透明性の向上と公正の確保が求められる。 今後の行財政や自治の仕組みを考える必要がある。そのためには市民との合意形成が不可欠であり、その方法が課題である。 市民のライフスタイルの24時間化・広域化に対応した、より便利で利用しやすい環境の整備が必要。 仕事、家庭両面にわたって不安、ストレスを抱える職員は増え続けており、メンタルヘルス面での対応および定期健康診断の管理区分に応じたきめ細かなフォロー体制が必要である。 庁舎は築20年を迎えて、各機能で更新時期を迎えており、コストと重要度を踏まえた計画的な環境整備が必要である。	市政への市民の信頼が高い！	市政運営に信頼がおけると思う市民の割合	%	目標値	—	22.2	26.0	30.0	 75.7%
							実績値	18.4	19.4	22.7	—	

No.	基本方針	第1期計画策定時の現況と課題 【○：現況、●：課題】	第1期計画期間における取組み概要・成果実績、 環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位		H21	H22	H23	H24	目標達成度						
57	行財政資源の有効活用	<p>○「人・物・金」を適切に配置・配分し、成果を最大限引き出す行財政マネジメントに取り組んでいます。</p> <p>●PDCAサイクルによる、適切なマネジメントを行うとともに、広域的な連携も含めた、業務・事務の効率化を図っていきます。</p>	<p>◇庁内の共通した事務の支援や機器類の管理の一元化を行い、効率的な事務事業の執行に努めた。</p> <p>効率的で適切な予算編成・適正な執行管理の維持により、健全な財政運営の確保に努めた。</p> <p>人材育成基本方針に基づき、長期的かつ総合的な観点で、職員の能力開発に努めた。</p> <p>湖南広域行政組合において、市民サービスの質の向上および効率的な維持・運営を目指し、広域的な連携強化を図った。</p> <p>◆市民窓口の整理統合と更なる情報通信技術の有効活用により、業務の効率化が求められている。</p> <p>地方財政の不足に対応するため、臨時財政対策債の発行が常態化しているうえ、今後、老朽化した公共施設の改修や再整備等、大規模な財政支出が見込まれることから、公債費負担・市債残高の増嵩が予想される。市債の新規発行にあたっては、基金の活用や交付税措置のある市債の活用を図りながら、将来の財政運営への影響を十分に見極める必要がある。</p> <p>平成26年度をピークとする大量退職時代を控え、技術・ノウハウの確実な伝承や組織体制を確立する必要があり、政策形成能力の向上に向けた体系的な研修および職員一人ひとりの意識改革が求められる。</p> <p>湖南広域休日急病診療所の運営主体を湖南広域行政組合へ移管し、開設場所等を変更することについて協議している。(事務局：草津保健所)</p>	将来負担比率が適正に維持されている！	将来負担比率	%	目標値	—	60%以内	60%以内	60%以内	—	実績値	13.4	14.0	0.6	—	